

1. 全日本剣道連盟制定の「剣道修練の心構え」について、次の（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛なる（ ）を養い、剣道の特性を通じて（ ）をとるとび、（ ）を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以て（ ）を愛して、広く人類の（ ）に寄与せんとするものである。
2. 「全日本剣道連盟杖道」解説に「杖道修練の効果」としてあげられている次の5点について（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
 - 1) （ ）, 信義、誠実、忍耐等の（ ）が養われる。
 - 2) （ ）を強健にし、（ ）を敏活にする。
 - 3) （ ）態度がよくなる。
 - 4) （ ）力、（ ）力が養われ、自信をもって事にあたれるようになる。
 - 5) （ ）関係がよくなり、（ ）生活に必要な（ ）性が養われる。
3. 「常の構え」の要領について、次の（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
（ ）のまま（ ）で杖の（ ）を握り、（ ）に軽くつけ、杖先をほぼ「（ ）」の高さにし、両足を揃えて立つ。
4. 太刀の「携刀姿勢」について、次の（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
左手の（ ）を鐙にかけて四指で鐙元付近を握り、肘をわずかに曲げて、（ ）を上にし、「柄頭」が（ ）上、切っ先が約（ ）度後ろ下がりになるようにして、左親指の付け根を（ ）の上に軽くつけて太刀を携える。
5. 「全日本剣道連盟杖道」の基本形12本の名称を書きなさい。
一本目（ ） 二本目（ ） 三本目（ ） 四本目（ ）
五本目（ ） 六本目（ ） 七本目（ ） 八本目（ ）
九本目（ ） 十本目（ ） 十一本目（ ） 十二本目（ ）
6. 「全日本剣道連盟杖道」の形12本の名称を書きなさい。
一本目（ ） 二本目（ ） 三本目（ ） 四本目（ ）
五本目（ ） 六本目（ ） 七本目（ ） 八本目（ ）
九本目（ ） 十本目（ ） 十一本目（ ） 十二本目（ ）
7. 「全日本剣連杖道」解説書の「基本指導上の留意点」について、次の（ ）内にあてはまる語または語句を記入しなさい。
基本は、杖道形の（ ）の原則を示したもので、基本の組合せが形になっているのではない。したがって基本の稽古は、形を（ ）かつ円滑に遣えるようにするために行うことを念頭において稽古する。便宜上、団体で一緒に演武し、また連続して稽古をしているが、各動作を大切に、（ ）、打突に、十分気をつけて行う。とくに単独動作では、（ ）が一致するよう心がけて、（ ）を身につけるよう稽古する。
8. 「全日本剣連杖道」解説書の「太刀の中段の構え」について、次の（ ）内にあてはまる語または語句を記入しなさい。
（ ）を前に、（ ）は（ ）前より約（ ）前にして、（ ）の付け根の関節を（ ）の高さにする。剣先の延長は、（ ）の中央または（ ）とする。また（ ）の間合を前提とする。
9. 「全日本剣連杖道」四本目「斜面」の目的を書きなさい。
10. 「全日本剣連杖道」解説書の「杖道の指導精神」について、次の（ ）内にあてはまる語または語句を記入しなさい。
杖道は（ ）を主とせず、相手の（ ）に応じて変化し制圧するのが本旨であって、その精神は「（ ）つけず（ ）をこらして戒しむる 教えは（ ）にやはある」という古歌にあるとおり、形の多くは（ ）で始まる。